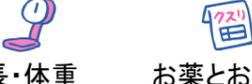


腰椎後方固定術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付経過	/	/	/	/	/	/
	入院から手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目
治療	 医師の診察があります	 ひげがある方は剃っていただきます	 術衣に着替え、午前中から点滴を行います(1番目の手術は点滴を行いません)	 手術後から翌朝まで点滴を行います	 朝と夕に抗生剤の点滴を術後3日目まで続けます 必要に応じてガーゼの交換を行います ※血液の管は抜けません	 必要に応じてガーゼの交換を行います 排液の量により血液の管が抜けます
処置	 自分の血液を貯めます(貯血) 外来または入院後に行います(1回 200~400ml) ※貯血ができなかった場合は輸血を請求します	※手術までに用意して頂くもの  ①浴衣または前開きの寝巻  ②ストロー付きのコップ(コップとストロー)  ③バスタオル  ④フェイスタオル  ⑤ティッシュペーパー	※あると便利です 100円ショップなどで売っている籠 コップやティッシュなど入れることができます 	 手術室でX線・採血を行います	 貯血または請求した血液を輸血します 術後1日目	
検査	 身長・体重を測ります お薬とお薬手帳をお持ち下さい	①③④はレンタル病衣で対応できます			 鎮痛剤・胃薬を飲み始めます(1週間)	
活動	 病院内でお過ごしください 外出には医師の許可が必要です		 病棟内でお過ごしください	 看護師の介助のもとで寝返りができます(ベッドアップ30度)	 看護師の介助のもとで寝返りができます(ベッドアップ90度)	 血液の管が抜けたら自分で寝返りができます(装具をつけて)
	 手術前のリハビリを行います		お休み		 病室にリハビリのスタッフが来ます	
食事	 制限はありません		 絶飲食 水分は指示された時間まで飲むことができます	 飲水・食事は許可があるまでお待ちください	 食事を開始します 食事形態は食事摂取の状況で変更していきます	
清潔	 入浴できます		 手術前までは可能です	 蒸しタオルで体を拭きます		
排泄	 トイレをお使い下さい			 尿管が入ってきます 差し込み便器で排便となります		
説明・指導	 医師より手術の説明、看護師より入院生活の説明をします	 麻酔科医・手術室看護師が説明にきます		 手術後、医師から家族に説明があります		
その他	 外来または入院後に装具(硬性コルセット)の作成をします	 手術同意書をお出してください	 手術に行く時から弾性ストッキングをはきます			

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

作成日: 2013年7月13日

改訂日: 2015年11月1日

横浜南共済病院

腰椎後方固定術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付経過	/	/	/	/	/	/
	術後3日目	術後4日目	術後5~7日目	術後8~14日目	術後15~21日目	
治療	 抗生剤終了					
処置	 必要に応じてガーゼの交換を行います 排液の量により血液の管が抜けます  抜去 	 必要に応じてガーゼの交換を行います 排液の量により血液の管が抜けます	 傷のチェックをします ガーゼやテープを貼ります 傷に問題なければテープは剥がします		 退院が可能となります	
検査	歩行開始後X線撮影を行います  術後より鎮痛剤・胃薬を飲み始めています(1週間)		 術後7日目に採血があります  内服終了	 X線・採血を行います 術後14日目		
活動	 装具をつけて歩行を開始します					
	 回復に合わせてリハビリを進めていきます			 階段昇降など退院後の生活に合わせた練習をします		リハビリは患者様の回復に合わせて拡大していきます
食事	 食事形態は食事摂取の状況で変更していきます					退院日の食事は朝までです
清潔	 蒸しタオルで体を拭きます	 熱がなければシャワー浴が4日目から可能です				
排泄	 トイレに行けます お小水の管は抜きます					
説明・指導	 装具の取り扱いについて看護師が説明していきます				 退院後の生活について説明します	
その他	 歩行を開始したら弾性ストッキングを脱ぎます				 退院までにお会計をしていただきます	

日付 経過	/	/	/	/	/	/
治療						
処置						
検査						
活動						
食事						
清潔						
排泄						
説明・指導						
その他						